

元気！長生き！

太陽生命



# News Release

2021年9月15日

各位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹



## 太陽生命、世界アルツハイマーデーにあわせて

### 認知症の予防に関する意識調査結果を公表！

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、子会社である太陽生命少子高齢社会研究所と共同で、認知症の予防に関する意識調査を実施しており、9月21日の世界アルツハイマーデーにあわせて、調査結果を公表します。

#### 本調査結果全体のポイント

- ①最もなりたくない病気は「**認知症**」となり、認知症への高い関心や不安が明らかになった
- ②認知症について関心があるもの第1位は「**予防**」となったほか、ほとんどの人が**認知症を予防することは重要だと考えている一方で、認知症の予防対策を実施している人はわずかであった**

超高齢社会を迎えた日本において、国は、認知症施策推進大綱のなかで、「共生」と「予防」を両輪として施策を推進する方針を打ち出すなど、認知症の「予防」への取組みがますます注目されています。

そのようななか、当社は、2014年よりベストシニアサービス（BSS）を開始し、「シニアのお客様に最もやさしい生命保険会社になる」ことを目指して、あらゆる取組みをシニアのお客様視点へと見直しており、2016年3月には、生命保険業界で初めて<sup>(\*)</sup>、健康状態に不安のある方でもお申し込みいただける、認知症による所定の状態を保障する保険『ひまわり認知症治療保険』を発売しました。また、2018年10月には、「保険で病気を予防する」をコンセプトに『ひまわり認知症予防保険』を発売しました。

さらに、2020年4月には、社会的課題の解決への取組みを一層強化すべく、健康・医療等に関する調査・研究を専門的に実施する、「太陽生命少子高齢社会研究所」を設立し、様々な研究機関と協働のうえ、調査・研究に取り組んでまいりました。こうした取組みの一環として、過日、太陽生命少子高齢社会研究所と共同で、認知症の予防に関する意識調査を実施しました。本ニュースリリースは、9月21日の世界アルツハイマーデーにあわせて、その内容を公表するものです。

当社は、今後とも認知症を含めた社会的課題の解決への取組みに貢献することで、人生100歳時代を誰もが安心して、元気に長生きできる社会の実現を目指してまいります。

以上

#### <調査概要>

- 調査名称：認知症の予防に関する意識調査
- 実施期間：2021年7月9日（金）～2021年7月10日（土）
- 実施方法：インターネット調査にて当社調べ（株式会社マクロミルのモニターを利用）
- 回答者数：2,472名（20代～70代の男女206名ずつ）  
※アンケートの詳細については、2ページ目以降に記載

(\*) 簡単な告知により加入できる選択緩和型の商品で、認知症について保障する保険は生命保険業界初となります（一般社団法人生命保険協会加盟41社について、当社調べ(2015年12月末時点)）。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

太陽生命保険株式会社 広報部  
東京都中央区日本橋 2-7-1

## 1. 本調査結果のポイント

1

・複数の病気について質問したところ、最もなりたくない病気は、「**認知症**」と回答した人が最多の42.6%となったほか、**男女別のすべての年代においても同様に最多**であった。

2

・認知症について関心があるもの第1位は、「**予防**」(61.6%)、2位「**早期発見手段**」(47.2%)、3位「**治療方法**」(40.8%)となった。  
・**男女別のすべての年代において、認知症の「予防」が最も関心の高い事項**であった。

3

・**95.8%の人が認知症を予防することは重要だ**と思う一方で、**認知症の予防対策を実施している人は16.0%**のみであった。  
・認知症を予防するための対策については、**50代・60代・70代と年齢の上昇にともない、対策を講じている割合が高くなる傾向**にある。

4

・**73.4%**の人が、簡単な血液検査でMCI(軽度認知障害)の発症リスクなどを判定できる検査(MCIスクリーニング検査)<sup>(\*)</sup>を**受けてみたい**と回答。  
・**男性より(68.7%)、女性(78.0%)の方が受けてみたい**と回答した人が多かった。

5

・**認知症治療薬が開発・認可された**としたら、**83.3%の人が利用したい**と回答した一方で、**治療費が高額だった場合、85.9%の人は、金銭的負担が大きく利用できない**と回答。  
・認知症治療薬については、**男性より(79.0%)、女性(87.6%)の方が利用したい**と回答した割合が高かった。

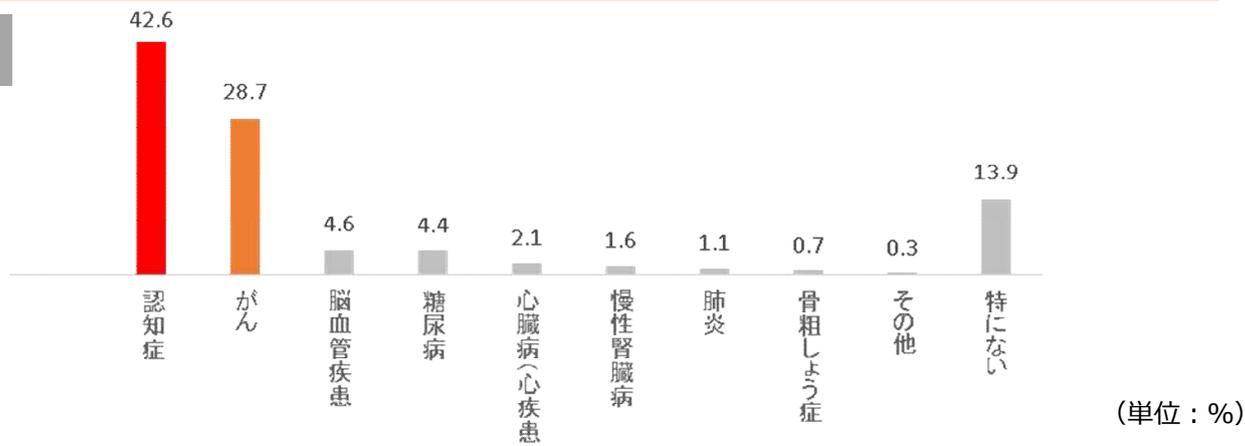
(\*) 簡単な血液検査で軽度認知障害(MCI)の兆候が確認できるMCIスクリーニング検査の詳細はこちらをご確認ください。

[https://www.taiyo-seimei.co.jp/customer/health\\_promotion/mci.html](https://www.taiyo-seimei.co.jp/customer/health_promotion/mci.html)

## 2. 調査結果詳細

Q1 自分自身が最もなりたくない病気をお選びください。なお、すでにかかっている病気がある場合は、その病気も含めてお答えください。（単一回答）

### 全体

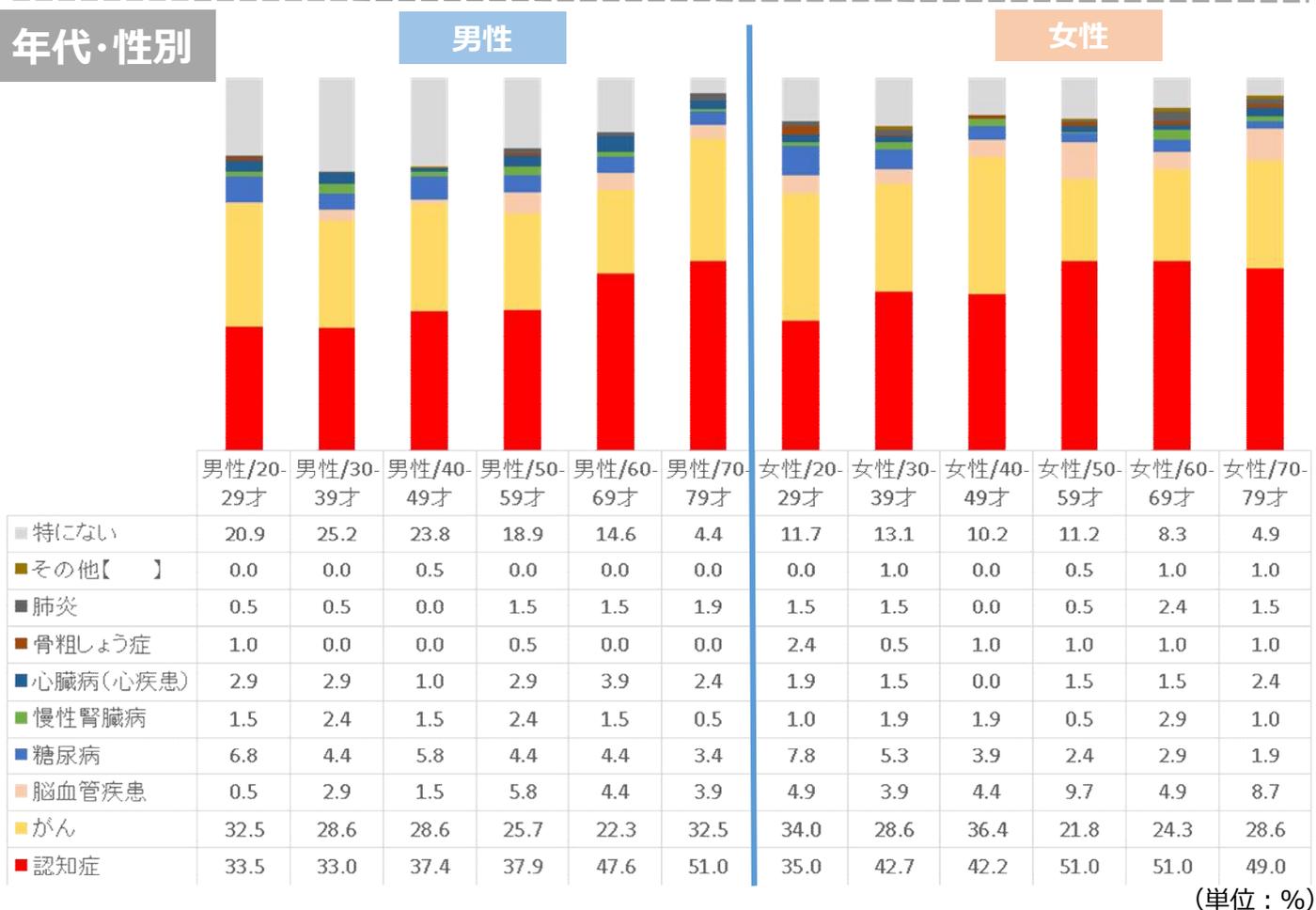


### 男女

	認知症	がん	脳血管疾患	糖尿病	心臓病(心疾患)	慢性腎臓病	肺炎	骨粗しょう症	その他	特にない
全体	42.6	28.7	4.6	4.4	2.1	1.6	1.1	0.7	0.3	13.9
男性	40.0	28.4	3.2	4.9	2.7	1.6	1.0	0.2	0.1	18.0
女性	45.1	29.0	6.1	4.0	1.5	1.5	1.2	1.1	0.6	9.9

(単位：%)

### 年代・性別

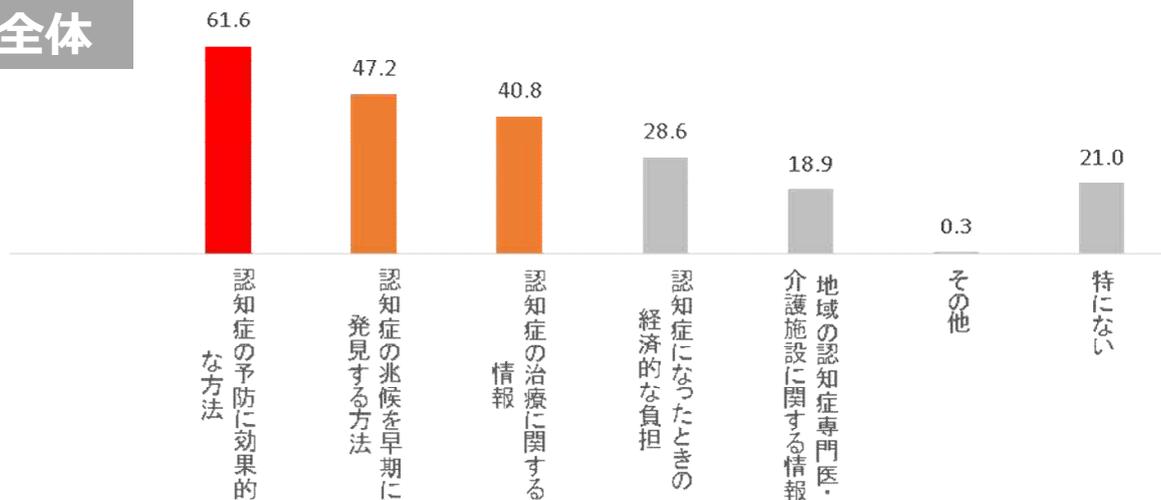


- 男女別のすべての年代で認知症が最も高い回答率となった。
- 男性・女性問わず、年齢が上がるにつれて認知症と答える回答率が上昇する傾向がみられる。
- 認知症の回答率が最も高いのは、70代男性、50・60代女性の51.0%となった。

## 2. 調査結果概要

Q2 認知症について関心があるものをお答えください。(複数回答)

### 全体



(単位：%)

### 男女

	認知症の予防に効果的な方法	認知症の兆候を早期に発見する方法	認知症の治療に関する情報	認知症になったときの経済的な負担	地域の認知症専門医・介護施設に関する情報	その他	特にない
全体	61.6	47.2	40.8	28.6	18.9	0.3	21.0
男性	56.1	42.8	36.8	22.8	14.7	0.1	27.7
女性	67.1	51.7	44.7	34.4	23.1	0.6	14.3

(単位：%)

### 年代・性別

	認知症の予防に効果的な方法	認知症の兆候を早期に発見する方法	認知症の治療に関する情報	認知症になったときの経済的な負担	地域の認知症専門医・介護施設に関する情報	その他	特にない
全体	61.6	47.2	40.8	28.6	18.9	0.3	21.0
男性							
男性/20-29才	58.3	39.3	37.9	24.3	14.1	0.0	27.7
男性/30-39才	48.1	42.2	33.0	20.9	12.1	0.5	31.1
男性/40-49才	49.0	38.8	31.1	22.8	14.1	0.0	37.4
男性/50-59才	51.9	42.7	33.0	22.3	16.5	0.0	33.5
男性/60-69才	61.2	39.8	35.9	19.4	15.0	0.0	23.8
男性/70-79才	68.4	53.9	50.0	27.2	16.5	0.0	12.6
女性							
女性/20-29才	66.0	54.4	44.7	41.3	20.4	0.5	9.7
女性/30-39才	62.1	48.1	41.3	32.5	20.9	2.4	18.4
女性/40-49才	65.0	47.6	44.2	37.9	22.8	0.5	18.0
女性/50-59才	73.8	51.5	45.6	38.3	25.2	0.0	13.6
女性/60-69才	68.9	57.8	46.6	33.5	24.8	0.0	13.1
女性/70-79才	66.5	51.0	46.1	22.8	24.8	0.0	13.1

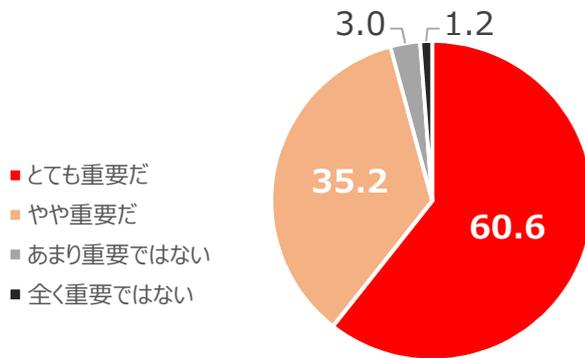
(単位：%)

- 男女別のすべての年代において、「認知症の予防に効果的な方法」が最も関心の高い事項となった。
- 「認知症の予防に効果的な方法」については、女性が特に強く関心を持つ傾向があり、50代女性が最も関心が高い(73.8%)。

## 2. 調査結果概要

Q3 認知症を予防するための取組みが重要だと思いますか。(単一回答)

### 全体



(単位：%)

### 男女

	とても重要だ	やや重要だ	あまり重要ではない	全く重要ではない
全体	60.6	35.2	3.0	1.2
男性	56.0	37.9	4.0	2.1
女性	65.2	32.5	2.0	0.2

(単位：%)

### 年代・性別



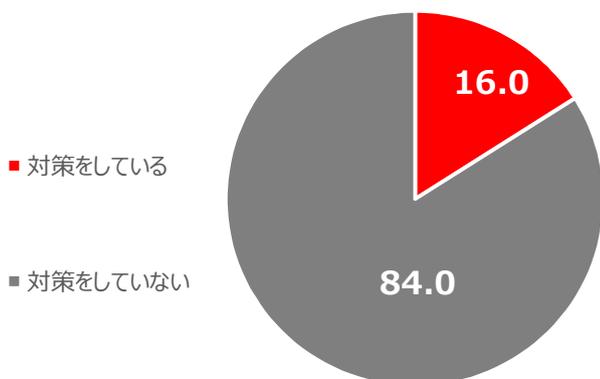
(単位：%)

- 全体の95.8%が認知症の予防が「とても重要だ」「やや重要だ」と考えており、高い関心を示している。
- 男女別のすべての年代において、90%以上が認知症の予防は重要だと考えている。
- 男性（93.9%）より女性（97.7%）の方が重要だと考えている割合が高い。

## 2. 調査結果概要

Q4 認知症を予防するために対策をしていますか。(単一回答)

### 全体



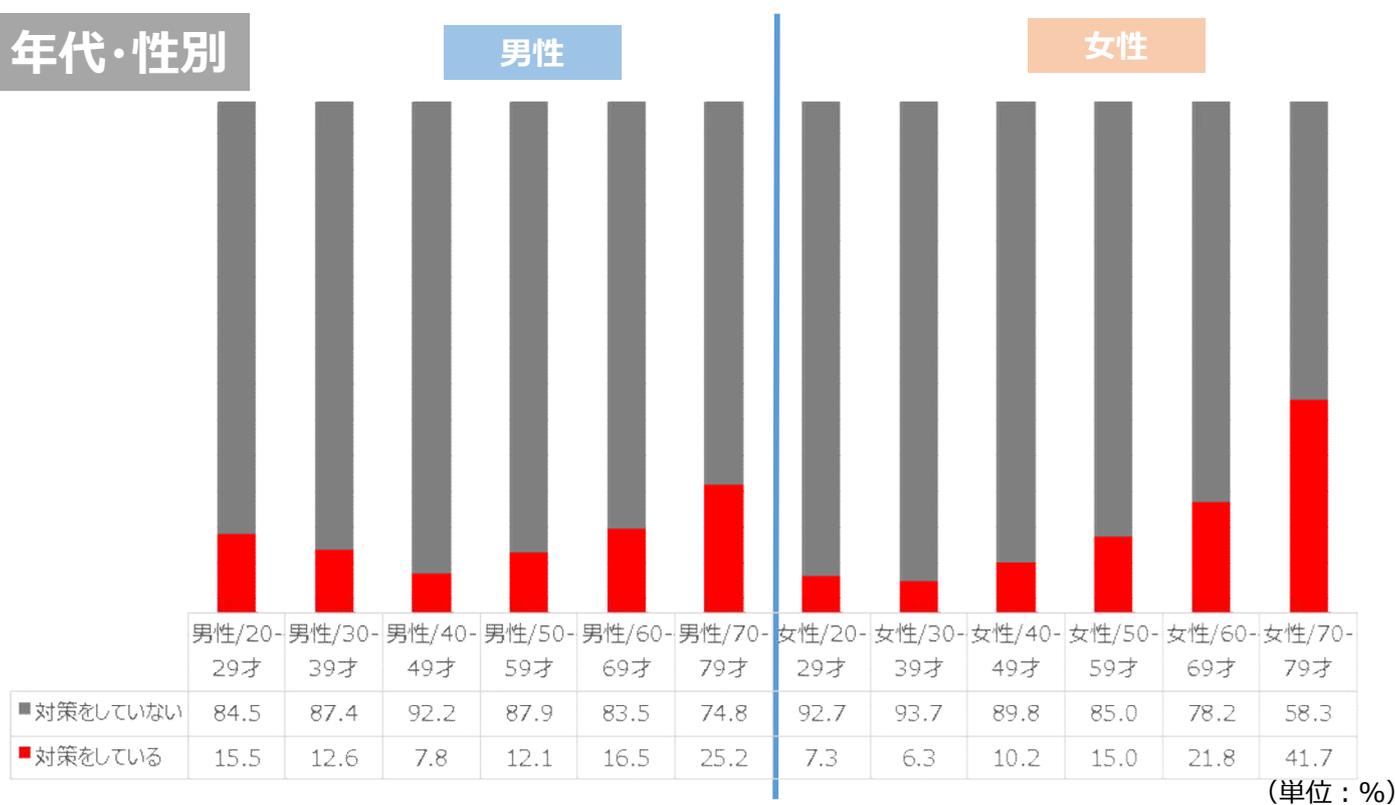
(単位：%)

### 男女

	対策をして いる	対策をして いない
全体	16.0	84.0
男性	15.0	85.0
女性	17.1	82.9

(単位：%)

### 年代・性別



(単位：%)

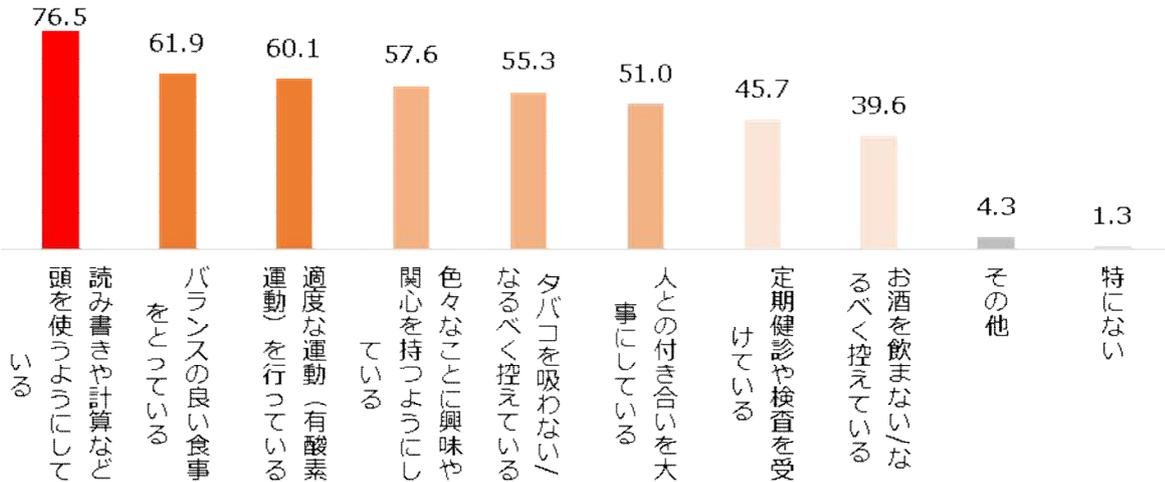
- 95.8%の人が「認知症の予防」が重要だと考えている一方で（Q3より）、対策をしている人は16.0%に留まっている。
- 50・60・70代と年齢の上昇に伴い、対策を講じている人の割合が高まる傾向にある。
- 男性（15.0%）より女性（17.1%）の方が、対策をしている人の割合が高い。
- 特に高齢女性で割合が高い傾向にあり、最も、認知症の予防するために対策をしているのは、70代女性の41.7%となった。

## 2. 調査結果概要

Q5 認知症を予防するために具体的に心がけていることをすべてお選びください。（複数回答）

※ Q4で対策をしていると答えた方のみ回答。

### 全体



### 男女

	読み書きや計算など頭を使うようにしている	バランスの良い食事をとっている	適度な運動（有酸素運動）を行っている	色々なことに興味や関心を持つようになっている	タバコを吸わない/なるべく控えている	人との付き合いを大事にしている	定期健診や検査を受けている	お酒を飲まない/なるべく控えている	その他	特にない
全体	76.5	61.9	60.1	57.6	55.3	51.0	45.7	39.6	4.3	1.3
男性	71.4	54.6	58.9	49.7	54.1	44.9	45.4	30.8	4.9	2.2
女性	81.0	68.2	61.1	64.5	56.4	56.4	46.0	47.4	3.8	0.5

(単位：%)

### 年代・性別

	読み書きや計算など頭を使うようにしている	バランスの良い食事をとっている	適度な運動（有酸素運動）を行っている	色々なことに興味や関心を持つようになっている	タバコを吸わない/なるべく控えている	人との付き合いを大事にしている	定期健診や検査を受けている	お酒を飲まない/なるべく控えている	その他	特にない
全体	76.5	61.9	60.1	57.6	55.3	51.0	45.7	39.6	4.3	1.3
男性	男性/20-29才	56.3	53.1	65.6	40.6	50.0	65.6	25.0	6.3	3.1
	男性/30-39才	57.7	42.3	53.8	42.3	50.0	42.3	38.5	3.8	3.8
	男性/40-49才	62.5	68.8	37.5	43.8	37.5	18.8	25.0	0.0	0.0
	男性/50-59才	76.0	56.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	4.0	4.0
	男性/60-69才	70.6	44.1	44.1	55.9	52.9	38.2	17.6	11.8	2.9
	男性/70-79才	88.5	63.5	73.1	61.5	61.5	57.7	36.5	1.9	0.0
	女性	女性/20-29才	66.7	53.3	20.0	46.7	53.3	26.7	46.7	13.3
女性/30-39才		38.5	61.5	61.5	53.8	61.5	38.5	38.5	7.7	0.0
女性/40-49才		85.7	61.9	61.9	76.2	76.2	47.6	52.4	4.8	0.0
女性/50-59才		71.0	64.5	45.2	61.3	45.2	41.9	41.9	3.2	3.2
女性/60-69才		86.7	73.3	62.2	62.2	60.0	57.8	55.6	0.0	0.0
女性/70-79才		89.5	72.1	73.3	68.6	53.5	65.1	52.3	3.5	0.0

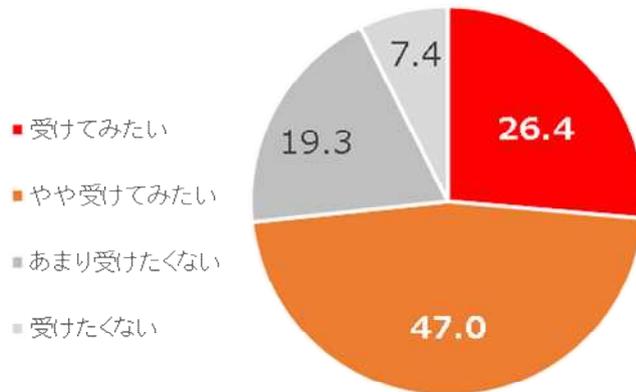
(単位：%)

● 認知症を予防するために具体的に心がけていることについては、「読み書きや計算など頭を使うようにしている」の回答率が76.5%と最も高く、次いで「バランスの良い食事をとっている」の61.9%となった。

## 2. 調査結果概要

Q6 MCI（軽度認知障害）の発症リスクなどを簡単な血液検査で判定できる検査（MCIスクリーニング検査）を受けてみたいですか。 ※既に受けたことがある方は、今後の意向についてお知らせください。（複数回答）

### 全体



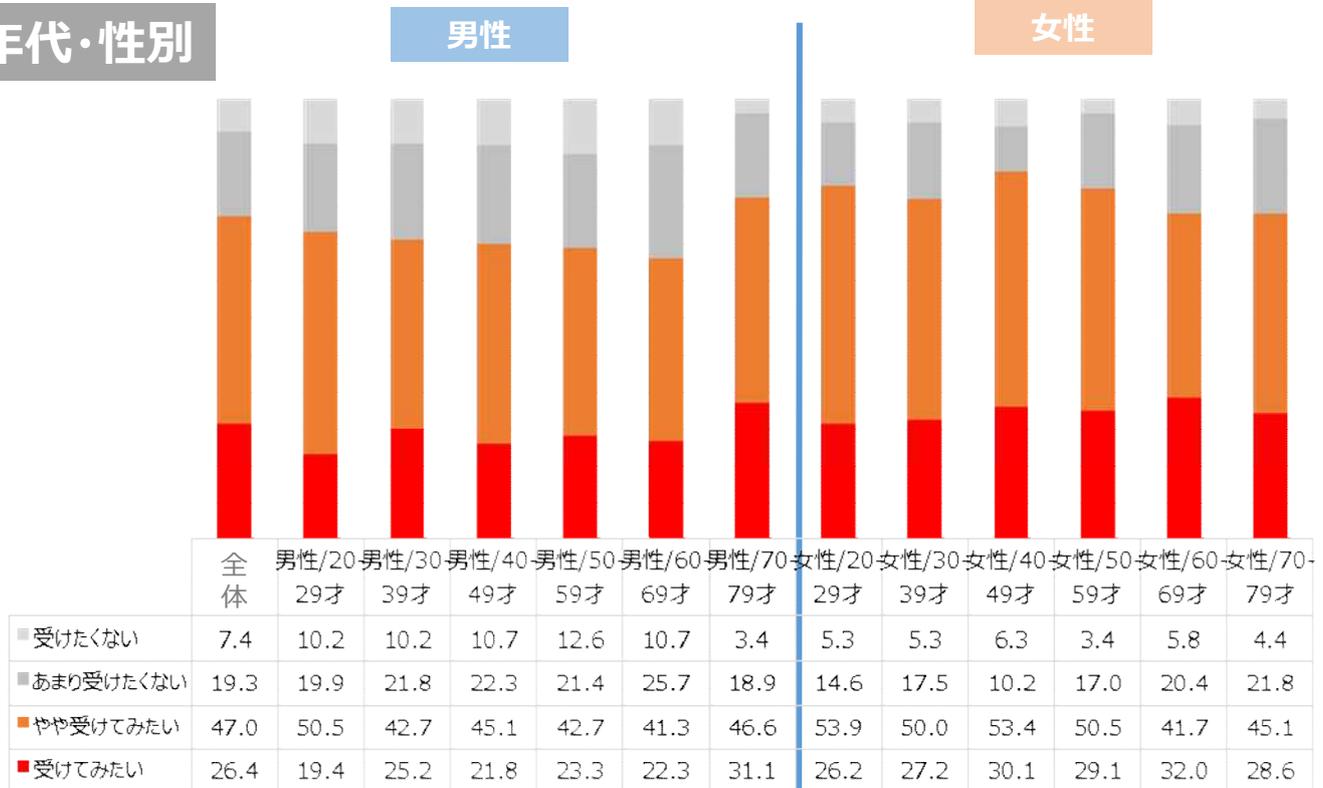
(単位：%)

### 男女

	受けてみたい	やや受けてみたい	あまり受けたくない	受けたくない
全体	26.4	47.0	19.3	7.4
男性	23.9	44.8	21.7	9.6
女性	28.9	49.1	16.9	5.1

(単位：%)

### 年代・性別



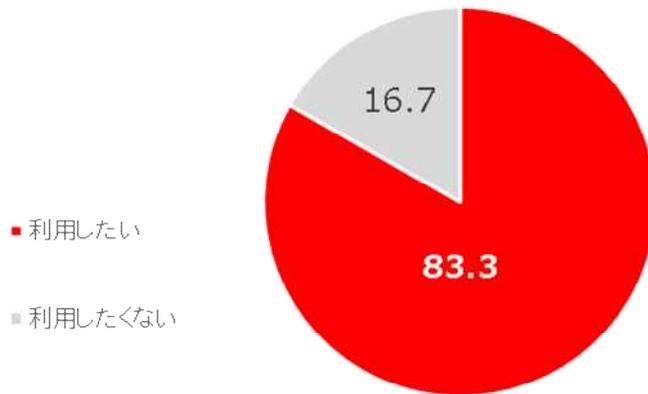
(単位：%)

- MCI（軽度認知障害）の発症リスクなどを簡単な血液検査で判定できる検査（MCIスクリーニング検査）については、73.4%の人が「受けてみたい」「やや受けてみたい」と回答した。
- 男性より（68.7%）女性（78.0%）の方が「受けてみたい」「やや受けてみたい」と回答した割合が高かった。

## 2. 調査結果概要

Q7 世界中で認知症治療薬の開発が進んでいます。ご自身や家族が認知症になった場合、開発・認可された認知症治療薬を利用したいですか。（単一回答）

### 全体



(単位：%)

### 男女

	利用したい	利用したくない
全体	83.3	16.7
男性	79.0	21.0
女性	87.6	12.4

(単位：%)

### 年代・性別



(単位：%)

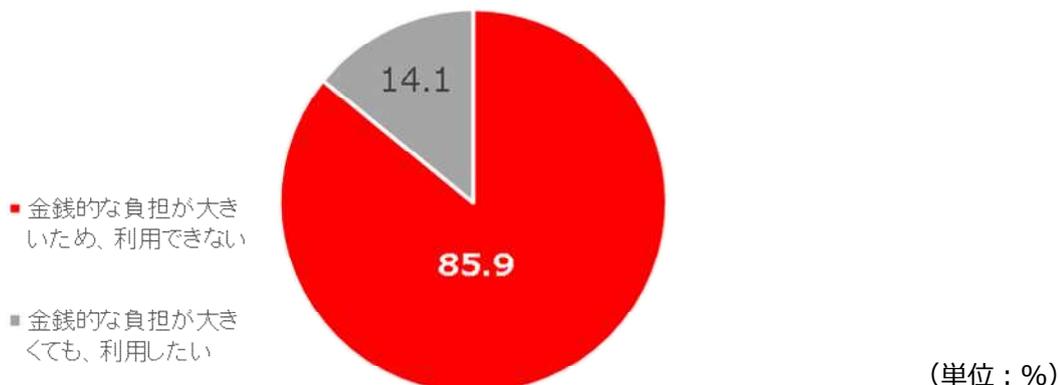
- 開発・認可された認知症治療薬については、83.3%の人が「利用したい」と回答し、高い関心を示した。
- 男性（79.0%）より、女性（87.6%）の方が「利用したい」と回答した割合が高かった。

## 2. 調査結果概要

Q 8 認知症治療薬は、開発費が高額なため、一部報道では年間治療費が600万円以上になるとも言われています。認知症になった場合、金銭的負担があったとしても利用したいですか。（単一回答）

※ Q7で利用したいと回答した人のみに質問。

### 全体

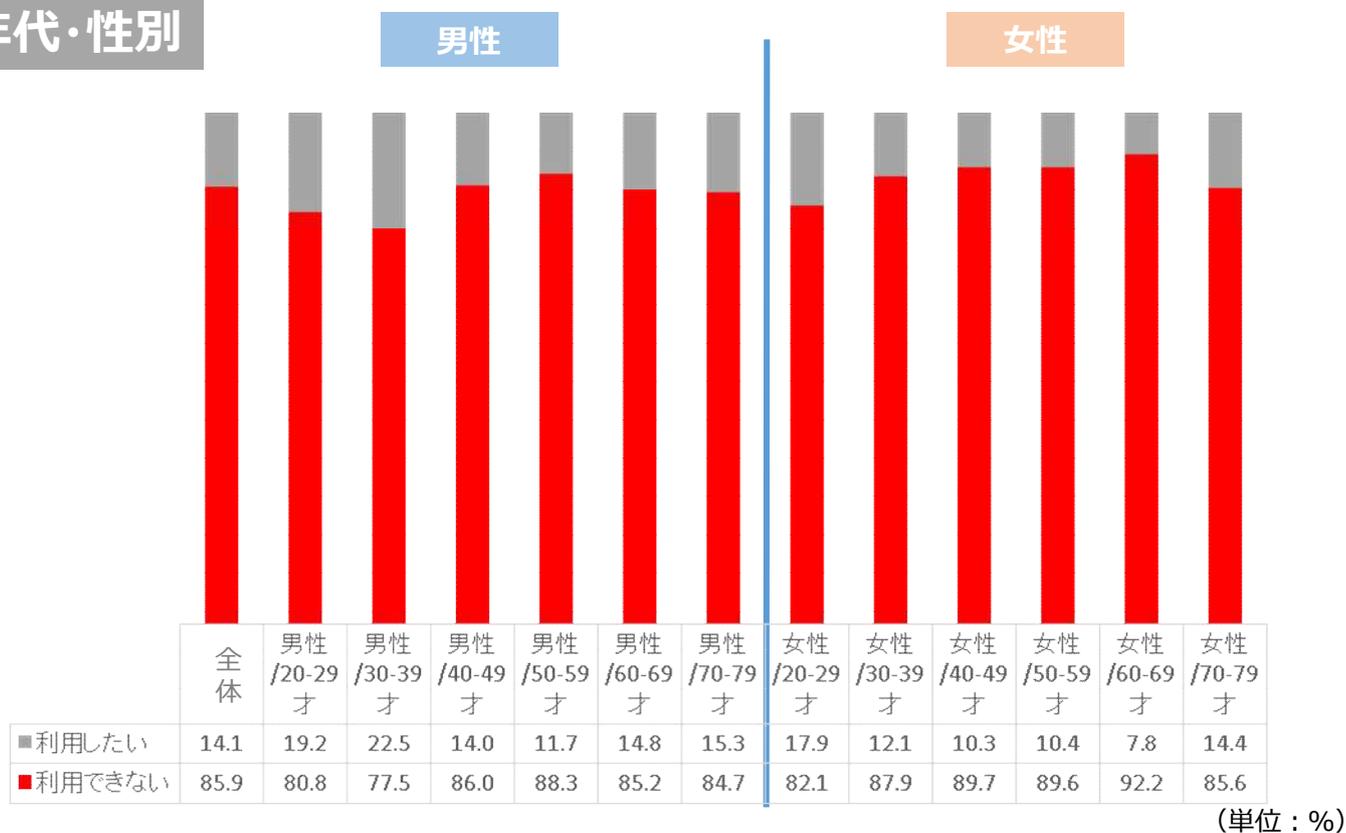


### 男女

	金銭的な負担 が大きいため、 利用できない	金銭的な負担 が大きくても、 利用したい
全体	14.1	85.9
男性	16.3	83.7
女性	12.2	87.8

(単位：%)

### 年代・性別



● 開発・認可された認知症治療薬については、83.3%の人が「利用したい」と回答し（Q7より）、高い関心を示していたものの、費用が高額となる場合、85.9%の人が「利用できない」と回答した。

<転載・引用について>

- ・本アンケートの著作権は、太陽生命保険株式会社が保有します。
- ・本調査レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として当社名（太陽生命保険株式会社）、調査名称および調査時期を明記してご利用ください。

■転載・引用に関する注意事項

以下の行為は禁止いたします。

- ・本レポートの一部または全部を改変すること
- ・本レポートの一部または全部を販売・出版すること
- ・出所を明記せずに転載・引用を行うこと
- ・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

※転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

※この利用ルールは、著作権法上認められている引用などの利用について、制限するものではありません。

以 上